

【ワークシート③】

学習した日 ()月()日()曜日

()年()組()番 名前()

◎課題1

「危険ドラッグ」ってなんだろう？ どんな特徴があるか知ってる？

- (例) ●危険ドラッグは、覚醒剤や大麻等に構造を似せて作られた物質を乾燥させた植物片や液体、粉末等に混ぜ込んだもの。
- 法の網をくぐり抜けるため、見た目では危険な薬物と分からないように、乾燥植物片に混ぜ込んで「ハーブ」、液体に混ぜ込んで「アロマ」、粉末に混ぜ込んで「バスソルト」等と称して、目的を偽装して販売されることも多い。

◎課題2

「危険ドラッグ」を乱用した場合、どんな悪い影響があるんだろう？

- (例) ●使用すると、覚醒剤等と同じか又はそれ以上に心身に悪影響を与える。
- 実際には含まれている物質の種類や量が分かっていないため、どんな健康被害が出るか分からないものも多くある。
- 幻覚や意識障害等を起こしたり、嘔吐、頭痛、手足のけいれん等の症状を起こし救急搬送された事例や交通事故等他人を巻き込む事例が報告されている。

◎課題3

こんな誘われ方をしたら、どう断る？ 後に続く言葉を考え、書き出してみましょう。

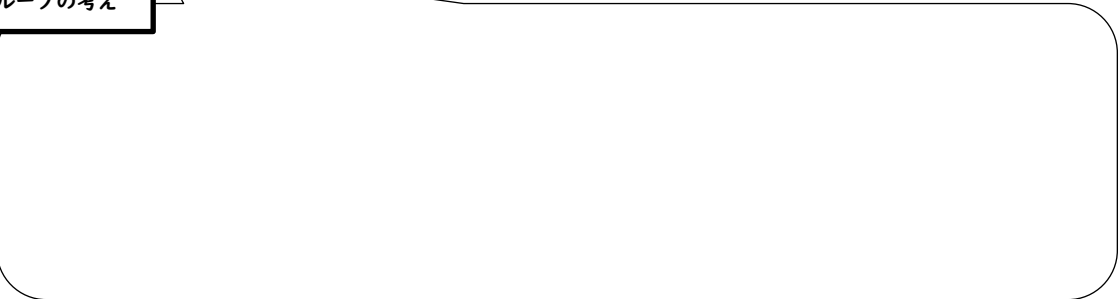
1) 期末テストが終わり、仲良しの友達とカラオケに行きました。

途中から友達の他の学校の友達も合流して、みんなで盛り上がっていました。

1時間ほどたった頃、途中から合流した子がタバコのようなものを吸い始めました。

「これちょっと強いタバコやねん。ハツパが上等やねん。みんなでちょっとずつ試してみいひん？」と勧められた。

グループの考え



私の考え



2) 久しぶりに会った陸上部の卒業生とお茶を飲みながら話している時に、サプリのようなものを勧められました。

「これめっちゃええで。体のキレが信じられへんくらいになって、タイム縮まってん。ほんまやで。」と勧められた。

グループの考え



私の考え



◆◆◆ コラム ◆◆◆

薬物乱用防止教育と ICT の活用

～ICT を活用して意見の共有を図り思考を深める～

- 授業の中でインターネットを活用し、最近報道された薬物事犯等を調べながら学習すると、より身近なことと感じられたりするなど、より理解が深まります。
- タブレット端末を活用してグループワークで考えた「薬物乱用を誘われた時の断り方」や「大麻についての意見」等をスクリーンに映し出してクラス全員で共有し、更なる意見交換へ導く等、ICT を活用すると、効果的な指導が期待できます。